



2010年5月25日  
アクサ生命保険株式会社



**アクサ生命、『アクサの「収入保障」のがん保険』の売上げの一部をCSRプロジェクトに寄付  
～がん罹患者の就労環境改善を目指す取り組みをサポート～**

アクサ生命保険株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長兼CEO:マーク・ピアソン)は、6月2日より『アクサの「収入保障」のがん保険』の販売を開始しますが、社会貢献の一環として、この商品の売上げの一部を、がんサバイバーズリクルーティングプロジェクト(代表:桜井なおみ氏/NPO法人HOPEプロジェクト代表、以下CSRプロジェクト)に寄付することとしました。

『アクサの「収入保障」のがん保険』は、働き盛り世代のニーズに応え、がん罹患時の「収入減のリスク」に焦点をあてて開発した日本初の「収入保障」のがん保険です。アクサ生命は、CSRプロジェクトが掲げる「がん患者の就労・雇用支援」という活動の趣旨に賛同するとともに、同プロジェクトの活動がこの新商品のコンセプトとも関連深いことから、今回の寄付スキームの導入を決めたものです。

なお、CSRプロジェクトでは、この寄付金を活用し、全国のがん患者に協力を呼びかけて、「がん患者の就労と家計に関する実態調査」を実施する予定です。日本では、がん患者の就労環境の実態についてはあまり知られておらず、この調査を通じて、「がんの治療を続けながら仕事を続けたい」と願うがん患者の声を、広く社会に訴求することを目的としています。調査の結果は、2010年8月に、研究資料として公表される予定です。

アクサ生命は、今回の寄付スキームの導入によって、がん患者の就労環境の改善を目指す取り組みの一助となることを願っています。

#### **CSRプロジェクト**

CSR(がんサバイバーズリクルーティング)プロジェクトは、がん患者の就労・雇用の実態を把握し、就労環境の改善を支援するグループ。東京大学医療政策人材養成講座(HSP)4期生の桜井なおみ氏を代表として、NPO法人HOPEプロジェクトなどが母体となって活動を行っている。最新の調査(2008年3月)では、がん患者の4人に3人は「今の仕事を続けたい」と希望しているのに対して、実際には、3人に1人が診断後に転職しているという実態が明らかになっており、就労環境改善の必要性を訴えている。

#### **AXAグループについて**

AXAグループは、フィナンシャル・プロテクション分野で世界をリードするグローバル企業です。ヨーロッパ、北米、アジア太平洋地域を中心に、世界各国で事業を展開しています。AXAはパリ証券取引所に株式を上場しています。詳細は[www.axa.com](http://www.axa.com)をご参照ください。

～本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします～  
アクサ生命保険株式会社 広報部  
電話:03-6737-7140 FAX:03-6737-5964  
<http://www.axa.co.jp/life>